

## 豊かな自然の中に飛び込もう

昨日「児童館・児童センター運営協力委員会」という会議に参加しました。市内には、児童館や児童センターは四つあります。北中校区にあるのは土岐町の桜堂にある「土岐児童センター」です。

土岐町出身の生徒なら、行ったことがあるという子もいるのではないのかな。他地区出身の生徒の中にも、小さいころ保護者と一緒に行ったことがあるという人がいるかもしれませんね。いずれにしても、その名の通り「児童」が対象です。（でも、中学生もウエルカムだということですよ。）そこで遊んだり催しものをしたりして、子どもが楽しく過ごす公の施設です。

会議では、四つのそれぞれの児童館の活動内容の発表がありました。その中で、土岐児童センターの自然体験活動に私は興味を持ちました。土岐児童センターの裏には、豊かな自然が広がっています。その自然の中に身を投じて、楽しく遊ぶという活動です。

そういう活動をしていると聞いて、私は一人の中学生を思い出しました。彼は土岐町の桜堂出身です。土岐児童センターにの近くに住んでいました。家庭訪問をしてわかったのですが、彼は幼い子どもたちを引き連れて、カブトムシのいる場所や捕り方などをその子たちに教えていました。そういうことにはすごく一生懸命だとお母さんから聞きました。自分が幼かった時にも教えてもらったので、今度はそれを自分が教える番だと彼は考えていたようです。

その情報を母親から聞いた私は、彼にカブトムシの居場所や捕り方を、彼に改めて尋ねてみました。すると、「待っていました！」と言わんばかりに説明が始まりました。私も生き物には興味があるので、ワクワクして彼の話を聞いていました。

その生徒は、現在三十九歳になっているはずですが、今でも土岐町に住んでいるかはわかりませんが、地元にはいなくても、彼に生き物のことを教えてもらった子たちが、その下の子たちに教え、その子たちが、そのまた下の子たちに教え……というように、受け継がれていったら最高ですね。土岐児童センターで行っている自然体験活動も、自然の魅力をバトンリレーのように伝えていく可能性があると思います。

さあ、いよいよ夏休み。そろそろ計画を立てなければなりませんね。休み前は毎日毎日忙しいし、危険だということで行動が制限されてきました。この夏休みぐらいは、安全な範囲内で、自然の中に身を投じてはいかがですか。机に向かう勉強も大切ですが、自然の中の勉強も大切だと思いますよ。くれぐれも、空気のようにんだ部屋で、画面に向かって手や指先の運動だけをやってはいけませんよ。身の周りがある豊かな自然の中に飛び込みましょう！

（七月十四日 記）